

利根川水系における外来生物コウライオヤニラミの確認について

- 環境省生物多様性センターでは、自然環境保全基礎調査の一環として、2022 年度から 2025 年度の 4 年間で日本全国を対象とした淡水魚類分布調査を実施中です。そのうち 2023 年 9 月と 2024 年 7 月に実施した環境 DNA 調査において、利根川水系鮎川（群馬県）で採水したサンプルからコウライオヤニラミの DNA が微量検出されました。
- 本種は日本には本来生息しない外来生物です。2017 年に宮崎県において初確認され、宮崎県 大淀川水系においては急速な生息分布拡大と在来魚類相への影響が強く懸念されている魚種です。
- 2024 年 10 月 28 日-29 日、利根川水系鮎川において、本種の個体現認を目的として、淡水魚類分布調査検討会委員と当センター職員により、タモ網（目合約 20mm）を併用した潜水捕獲調査を実施しました。夜間（2 回）と昼間（1 回）、DNA 検出地点から上流側へコウライオヤニラミの好適微生息場所をひとつひとつ探索しながら遡上し、個体確認時にタモ網捕獲を試みました。
- 2024 年 10 月 29 日 18:30 頃、コウライオヤニラミ 1 個体を現認し捕獲しました。捕獲後、同日に捕獲地点を再度探索した限りでは、本種の別個体は確認されませんでした。
- 本件は、本州の河川におけるコウライオヤニラミの初確認（環境 DNA および個体捕獲）かつ利根川水系鮎川における防除に向けた初期対応を実施したお知らせとなります。今回の対応と結果については群馬県の関係部署や漁業協同組合にも即時共有しています。



利根川水系鮎川において捕獲されたコウライオヤニラミ （左：生時、右：標本）

<参考情報>

■ 自然環境保全基礎調査

自然環境保全法第4条に基づき、全国的な観点から我が国の自然環境の現状と変化を把握し自然環境保全施策の推進に必要な基礎資料を整備するため、動物、植生、河川・湖沼、湿地、藻場・干潟・サンゴ礁等を対象に実施している。

自然環境保全基礎調査 web ページ https://www.biadic.go.jp/kiso/fnd_list_h.html

■ 環境 DNA 調査

環境中に含まれる「生物由来の DNA（生物が分泌する体液や体組織の遺伝子）」を解析し、生息する生物種を調べる調査。今回は淡水魚類を対象として実施した。

環境 DNA 調査：手引きやチェックシート https://www.biadic.go.jp/edna/edna_top.html

■ コウライオヤニラミ *Coreoperca herzi* Herzenstein, 1896

- ・ 内田恵太郎. 1935. かうらいおやにらみの生活史. 動物学雑誌, 475 (59): 257–275.
- ・ 日比野友亮・田口智也・岩田一夫・古橋龍星. 2019. 宮崎県大淀川水系から得られたオヤニラミ属魚類コウライオヤニラミ. *Nature of Kagoshima*, 45: 243–248.
- ・ 日比野友亮・緒方悠輝也・松尾怜・大衛亮正・小原直人・栗原巧・斎木悠亮. 2022. 大淀川水系におけるコウライオヤニラミの分布拡大と推測される在来魚種に与える影響. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 16: 18-24.
- ・ 日比野友亮・田口智也・国松翔太. 2024. 2017 年に宮崎県大淀川水系で確認されたオヤニラミ属魚類に関する追補. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 47: 21-25.
- ・ Tsuji, S., H. Doi, Y. Hibino, N. Shibata and K. Watanabe. 2024. Rapid assessment of invasion front and biological impact of the invasive fish *Coreoperca herzi* using quantitative eDNA metabarcoding. *Biological Invasions* 26, 3107–3123.
- ・ 京都大学 Web サイト「“超”侵略的？！新たな外来魚コウライオヤニラミ—環境 DNA 調査で明らかとなった深刻な分布拡大と魚類相への影響—」
<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research-news/2024-06-21>

- ・ 宮崎県 Web サイト「外来生物「コウライオヤニラミ」について」
<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/shizen/kurashi/aigo/kouraioyanirami.html>

- ・ 日本魚類学会 Web サイト「複数の外来魚類の特定外来生物への指定等の検討に関する要望書」
<https://fish-isj.jp/iin/nature/teian/file/moe&maff-241021.pdf>

<謝辞>

宮崎県大淀川水系の現状やコウライオヤニラミの生態特性について、北九州市立自然史・歴史博物館の日比野友亮博士から事前に詳細情報をご教示いただきました。利根川水系鮎川における潜水捕獲調査には、淡水魚類分布調査検討会委員である NPO 法人流域環境保全ネットワークの北村淳一博士にご同行いただきました。群馬県の環境森林部自然環境課、農政部蚕糸特産課水産係、県土整備部河川課、藤岡市の環境課には事前調整にご協力いただきました。烏川漁業協同組合事務局の立石義久専務理事には本種の捕獲調査に関するご協力をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

以上